

【再公告】交通すごろくWebアプリ開発及び運用保守業務

(公告日：2024年5月31日／公告番号：23a01010) について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
調達・派遣業務部次長（契約担当）

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P. 6	第 1 入札手続 5. 競争参加資格 (5) 競争参加資格の確認	「提出方法及び締切日時は 別紙「手続・締切日時一覧」をご覧ください」とありますが、これは、技術提案書・競争参加資格確認申請書の提出 2024/07/10(水) 正午まで という理解で合っていますでしょうか？	ご理解のとおりです。5. (5)に記載の提出書類を7月10日(水) 正午までにメールでご提出ください。
2	P. 9	第 1 入札手続 1 5. 落札者の決定方法 (3) 評価方法 1) 技術評価	評価点は絶対評価（全員が満点があり得る）でしょうか、相対評価（優秀な提案でも順位付けによっては配点がさがる）でしょうか？	技術評価点は絶対評価となります。
3	P. 13	第 2 業務仕様書（案）2. アプリの概要（3）交通すごろくの概要	いくつかのグループで同時に実施する場合ですが、注記では「アプリの中で、グループ同士を競わせる設定・機能は設けない」とあります。グループと言う概念は、アプリの中には存在しなくて良いという理解で合っていますでしょうか？アプリ内にグループの概念がないと、オンラインでその場にはいない人達の勝敗判定は難しいと思います。	「グループと言う概念は、アプリの中には存在しなくて良い」です。グループで競わせる設定は、プレイヤーが全て同じ場にフィジカルに一堂に会する場合のみ使います。
4	P. 15	第 2 業務仕様書（案）2. アプリの概要（4）アプリの構成 1) トップページ、ユーザの作成	ユーザ作成の際に、メールアドレス等のユニークな識別子+連絡先は、必要無いのでしょうか？（例えば、パスワードを忘れた時は、どうすればいいですか？）IDは、使い捨てでしょうか？その場合のライフサイクルはどう考えますか？	メールアドレス等の識別・連絡先は不要です。パスワードを忘れた場合には都度リセットし、IDが新規作成されることで構いません。
5	P. 15	第 2 業務仕様書（案）2. アプリの概要（4）アプリの構成 2) すごろくルームの作成・検索	すごろくルームは、ユーザは誰でも作れるのですか？双六ルームのライフサイクルはどうなりますか？	ユーザは誰でもルームを新規作成できます。ライフサイクルは特段想定していませんでしたので、適切・適当な期間をご提案いただきたいと思います。
4	P. 14	第 2 業務仕様書（案）2. アプリの概要（3）交通すごろくの概要	クルマを出す人が多い時は渋滞が発生しとありますが、発生条件は、固定でしょうか？レベル設定とかありますか？	「クルマを出す」のはプレイヤーです。「クルマ」というカードを選択したプレイヤーが多い場合には、そのすごろくのターンの中で渋滞状況が発生するという意味となります。具体的なコマの進める数の条件設定は、機能一覧（別添）に記載されております。
5		第 2 業務仕様書（案）2. アプリの概要（3）交通すごろくの概要	「車」を使う人が増えると、交通事故が増えとありますが、これは、ゲームにどう反映されますか？	ゲームの中には反映されません。すごろくゲームを通じて促したい考え方の一例として交通事故を例示しています。
6		第 2 業務仕様書（案）2. アプリの概要（3）交通すごろくの概要	すごろくで全員がゴールするまでにかかる回数は、すなわち社会的負荷とありますが、車カードを使えば、回数は減るので、社会的負荷は低いということでしょうか？全コマ数が社会的負荷ということはないのでしょうか？	多くの人がクルマカードを使えば、ゲーム上「渋滞」が発生するため、全員がゴールするまでにかかるターンの回数は減りません（一般的には増える）。社会的負荷は増えます。
7	P. 15	第 2 業務仕様書（案）2. アプリの概要（4）アプリの構成 4) ゲームモードの設定・ユーザの招待	プレイヤーは誰でも行えるとありますが、先に設定されたモノが反映され、すぐにゲームが始まるという理解で合っていますでしょうか？	その理解です。
8	P. 16	第 2 業務仕様書（案）2. アプリの概要（4）アプリの構成 4) ゲームモードの設定・ユーザの招待	ルームへの招待リンクを発行しとありますが、これは、各ルームをポイントするディープリンクという理解で合っていますでしょうか	御理解のとおりです。

9	P. 17	第2 業務仕様書（案）2. アプリの概要（5）アプリの稼働環境	多言語対応の機能を付加することとありますが、翻訳コストを見積もるために、凡その日本語テキストの文字数を教えてください。	アプリの画面想定から想定される文字数を考慮の上、御見積頂けますようお願い致します。
10	P. 17	第2 業務仕様書（案）2. アプリの概要（5）アプリの稼働環境	サーバ類の死活監視作業は可能な限り発生しない構成とありますが、死活監視は不要という理解でしょうか？	サーバレスなマネージドサービスを利用する前提の構成を意図しているものです。死活監視については、使用するサービスによってアプリのサービス状態を確認する方法をマニュアル等に記載頂こうお願いいたします。
11	P. 17	第2 業務仕様書（案）2. アプリの概要（5）アプリの稼働環境	クラウド利用を想定する場合は原則 ISMAP 登録のサービスを利用するとありますが、ゲームサーバーサービスを使用することは可能でしょうか？	ISMAPに登録されていれば問題ありません。万が一、ISMAP登録外のクラウドサービスを利用する場合は、ISMAPの選定基準・選定条件・セキュリティ要件を可能な限り満たすものを利用するようにしてください。
12	P. 18	第2 業務仕様書（案）2. アプリの概要（5）アプリの稼働環境	マスタやデータの設定は、Excel などの形式に入力をし、とありますが、管理画面は、必要ですか？Excelデータの投入は運用作業で行えば良いですか？	エクセルなどから簡易にデータを登録できるフローを用意することを意図しており、運用作業にて必要な作業が機構にて可能な状態をご用意いただければ、管理画面は必ずしも必要ありません。
13	P. 18	第2 業務仕様書（案）2. アプリの概要（6）アプリの情報セキュリティに関する事項	3）セキュリティ機能の装備は、事業者の環境に対する条件と考えれば良いでしょうか？サーバ等のクラウドサービスは、非公開情報が多いため、適格性の判断が出来ません。	御理解のとおりです。
14	P. 19	第2 業務仕様書（案）2. アプリの概要（6）アプリの情報セキュリティに関する事項	4）脆弱性対策の実施 次年度以降も、脆弱性診断を行い、保守対応する。そのためのコストを見積という理解で合っていますか？（コストは年間数十万円規模になります。）	御理解のとおりです。
15	P. 21	第2 業務仕様書（案）4. 業務の内容（1）アプリ開発フェーズ	3）アプリ開発で、ISMAP（政府情報システムのためのセキュリティ評価制度）に登録済のクラウドサービスとありますが、SaaS、PaaSに関するリストはありません、ゲームサーバ等のSaaSを使用する場合は、どう考えれば良いでしょうか？	サーバに関してのみの適用で問題ありません。
16	P. 22	第2 業務仕様書（案）5. 業務実施体制及び業務量	（2）業務量 想定業務量は 8.4 人月とする。 とありますが、これは、管理者の工数を含む想定でしょうか？	御理解のとおりです。
17	P. 24	第2 業務仕様書（案）7. 成果物	（7）アプリの展開ロードマップでは、アプリ開発は、6 か月を想定されていますが、成果物の表では、成果物（アプリ）は、契約後 5 か月以内と書かれています、どちらが正しいですか？	7. 成果物 No.2～5の提出期限を「契約締結後6か月以内」に訂正します。 なお、最大（最長）で6か月以内にアプリ開発をすることを想定しておりますが、その範囲でより短い日程（例えば5か月）で対応可能な場合には技術提案書にて提案ください。契約締結時に、提案内容を反映した提出期限を設定します。
18	P. 29	第4 経費に係る留意点 （1）経費の費目構成	2）直接経費では、サーバ費用として想定されてますが、SaaSや、PaaSを使用する事は構いませんか？また、従量課金サービスの利用は可能でしょうか？	SaaSやPaaSの利用を認めます。原則、ISMAPに登録済みのクラウドサービスを利用頂こう御願致します。万が一、ISMAP登録外のクラウドサービスを利用する場合は、ISMAPの選定基準・選定条件・セキュリティ要件を可能な限り満たすものを利用するようにしてください。従量課金サービスの利用も可能です。
19	P. 17	第2 2.（5）アプリの稼働環境	モバイルOSについてはiPadOS最新版、Andoroid最新版、iOS最新版までを推奨動作環境とする認識でよろしいでしょうか。webブラウザはどこまでを推奨動作環境とするかご教示ください。	モバイルOSについては認識齟齬ありません。WebブラウザについてはMicrosoft Edge、Google Chromeの最新版を推奨動作環境としてください。
20	P. 21	第2 4.（1）⑥受入テストの支援	受入テスト時に海外でのテストを行う想定でしょうか。	日本国内からのアクセスのみではなく、海外のJICA事務所から当該アプリにアクセスし、受入テストを行うことを想定しています。

21	P. 22	第2 5. (5) ①業務実施体制	今回 2 社での申し込みを検討しているのですが、代表者ではなく共同企業体の構成員を業務総括者に充てることは可能でしょうか。	共同企業体の構成員である社に所属する方が業務総括者となることは可能です。
22	P. 22	第2 5. (5) ②業務量	業務仕様書にて想定業務量8.4人月とございますが、運用保守業務を除いた要件定義→設計→開発→テスト→リリースまでの業務量という認識でよろしいでしょうか。	運用保守業務までも含む想定業務量です。
23	P. 23	第2 5. (6) 提出物	ユーザマニュアルは日本語、英語版の2種類が必要となりますか。 その他提出物については、全て日本語版のみとの認識でよろしいでしょうか。	運用・保守マニュアル、ユーザマニュアルは日・英を作成ください。それ以外は日本語で構いません。
24	P. 26	第3 技術提案書の作成要領	共同企業体を結成する場合、技術提案書は当社のみならず、共同企業体を構成する社の内容を記載して差し支えないでしょうか。	1. 「(1) 社としての経験・能力等」に関するご質問と理解いたしました。共同企業体を構成する社それぞれの経験・能力をご記載ください。
25	別添 P. 1	機能No. 12	選択可能な都市は下記を想定し、開発時に再度相談とありますが、都市が増える可能性があるということでしょうか。 Tokyo・Jakarta・Delhi・Hongkong・Bangkok	増やすことは想定していませんが、どれかを止めてどれかを追加（総数としては同じ）とする可能性はございます。

入札説明書の訂正

通番	該当頁	該当項目	訂正前	訂正後																																																																								
	P. 24	第 2 業務仕様書（案） 7. 成果物	7. 成果物 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th><th>工程</th><th>成果物名</th><th>成果物説明</th><th>提出時期</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>基本設計</td><td>システム構成図</td><td>どのようにシステムが構成されているのかを図式で分かりやすく示した書類（システムやサーバなどの機器がどのように組み合わせられているのかを図で視覚的に表示したもの）</td><td>契約後 1 か月以内</td></tr> <tr> <td>2</td><td>開発</td><td>アプリ</td><td>アプリおよびそれへのアクセス・管理者権限</td><td rowspan="4">契約後 5 か月以内</td></tr> <tr> <td>3</td><td>テスト</td><td>ユーザーテスト結果報告書</td><td>テストの結果を記載する。これによって、Web サイトやソフトウェア、製品などの使いやすさ、使い勝手を実際にユーザに試してもらうことによって、問題点や改善点を見つける。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>マニュアル作成</td><td>保守・運用マニュアル</td><td>保守運用担当者が保守運用を行うための引継ぎ事項のマニュアル</td></tr> <tr> <td>5</td><td>マニュアル作成</td><td>ユーザマニュアル</td><td>ユーザがアプリを利用するためのマニュアル</td></tr> <tr> <td>6</td><td>保守運用</td><td>障害報告書</td><td>保守運用時に、アプリに障害が発生したときに発生時期・原因・対応について記載する。</td><td rowspan="2">運用保守開始後 12 か月後 ／24 か月後</td></tr> <tr> <td>7</td><td>保守運用</td><td>変更要望リスト</td><td>変更要望を一覧化し管理する</td></tr> </tbody> </table>	No	工程	成果物名	成果物説明	提出時期	1	基本設計	システム構成図	どのようにシステムが構成されているのかを図式で分かりやすく示した書類（システムやサーバなどの機器がどのように組み合わせられているのかを図で視覚的に表示したもの）	契約後 1 か月以内	2	開発	アプリ	アプリおよびそれへのアクセス・管理者権限	契約後 5 か月以内	3	テスト	ユーザーテスト結果報告書	テストの結果を記載する。これによって、Web サイトやソフトウェア、製品などの使いやすさ、使い勝手を実際にユーザに試してもらうことによって、問題点や改善点を見つける。	4	マニュアル作成	保守・運用マニュアル	保守運用担当者が保守運用を行うための引継ぎ事項のマニュアル	5	マニュアル作成	ユーザマニュアル	ユーザがアプリを利用するためのマニュアル	6	保守運用	障害報告書	保守運用時に、アプリに障害が発生したときに発生時期・原因・対応について記載する。	運用保守開始後 12 か月後 ／24 か月後	7	保守運用	変更要望リスト	変更要望を一覧化し管理する	質問No. 17への回答のとおり、7. 成果物 No. 2～5の提出期限を「契約締結後6か月以内」に訂正します。当該箇所については、6か月よりも短い開発期間が提案された場合には、契約締結時にその期間に応じた内容にすることを想定しています。 また、成果物No. 1とNo. 2の間に罫線がなかったため、併せて訂正します。 7. 成果物 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th><th>工程</th><th>成果物名</th><th>成果物説明</th><th>提出時期</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>基本設計</td><td>システム構成図</td><td>どのようにシステムが構成されているのかを図式で分かりやすく示した書類（システムやサーバなどの機器がどのように組み合わせられているのかを図で視覚的に表示したもの）</td><td>契約後 1 か月以内</td></tr> <tr> <td>2</td><td>開発</td><td>アプリ</td><td>アプリおよびそれへのアクセス・管理者権限</td><td rowspan="4">契約後 6 か月以内¹¹</td></tr> <tr> <td>3</td><td>テスト</td><td>ユーザーテスト結果報告書</td><td>テストの結果を記載する。これによって、Web サイトやソフトウェア、製品などの使いやすさ、使い勝手を実際にユーザに試してもらうことによって、問題点や改善点を見つける。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>マニュアル作成</td><td>保守・運用マニュアル</td><td>保守運用担当者が保守運用を行うための引継ぎ事項のマニュアル</td></tr> <tr> <td>5</td><td>マニュアル作成</td><td>ユーザマニュアル</td><td>ユーザがアプリを利用するためのマニュアル</td></tr> <tr> <td>6</td><td>保守運用</td><td>障害報告書</td><td>保守運用時に、アプリに障害が発生したときに発生時期・原因・対応について記載する。</td><td rowspan="2">運用保守開始後 12 か月後 ／24 か月後</td></tr> <tr> <td>7</td><td>保守運用</td><td>変更要望リスト</td><td>変更要望を一覧化し管理する</td></tr> </tbody> </table>	No	工程	成果物名	成果物説明	提出時期	1	基本設計	システム構成図	どのようにシステムが構成されているのかを図式で分かりやすく示した書類（システムやサーバなどの機器がどのように組み合わせられているのかを図で視覚的に表示したもの）	契約後 1 か月以内	2	開発	アプリ	アプリおよびそれへのアクセス・管理者権限	契約後 6 か月以内 ¹¹	3	テスト	ユーザーテスト結果報告書	テストの結果を記載する。これによって、Web サイトやソフトウェア、製品などの使いやすさ、使い勝手を実際にユーザに試してもらうことによって、問題点や改善点を見つける。	4	マニュアル作成	保守・運用マニュアル	保守運用担当者が保守運用を行うための引継ぎ事項のマニュアル	5	マニュアル作成	ユーザマニュアル	ユーザがアプリを利用するためのマニュアル	6	保守運用	障害報告書	保守運用時に、アプリに障害が発生したときに発生時期・原因・対応について記載する。	運用保守開始後 12 か月後 ／24 か月後	7	保守運用	変更要望リスト	変更要望を一覧化し管理する
No	工程	成果物名	成果物説明	提出時期																																																																								
1	基本設計	システム構成図	どのようにシステムが構成されているのかを図式で分かりやすく示した書類（システムやサーバなどの機器がどのように組み合わせられているのかを図で視覚的に表示したもの）	契約後 1 か月以内																																																																								
2	開発	アプリ	アプリおよびそれへのアクセス・管理者権限	契約後 5 か月以内																																																																								
3	テスト	ユーザーテスト結果報告書	テストの結果を記載する。これによって、Web サイトやソフトウェア、製品などの使いやすさ、使い勝手を実際にユーザに試してもらうことによって、問題点や改善点を見つける。																																																																									
4	マニュアル作成	保守・運用マニュアル	保守運用担当者が保守運用を行うための引継ぎ事項のマニュアル																																																																									
5	マニュアル作成	ユーザマニュアル	ユーザがアプリを利用するためのマニュアル																																																																									
6	保守運用	障害報告書	保守運用時に、アプリに障害が発生したときに発生時期・原因・対応について記載する。	運用保守開始後 12 か月後 ／24 か月後																																																																								
7	保守運用	変更要望リスト	変更要望を一覧化し管理する																																																																									
No	工程	成果物名	成果物説明	提出時期																																																																								
1	基本設計	システム構成図	どのようにシステムが構成されているのかを図式で分かりやすく示した書類（システムやサーバなどの機器がどのように組み合わせられているのかを図で視覚的に表示したもの）	契約後 1 か月以内																																																																								
2	開発	アプリ	アプリおよびそれへのアクセス・管理者権限	契約後 6 か月以内 ¹¹																																																																								
3	テスト	ユーザーテスト結果報告書	テストの結果を記載する。これによって、Web サイトやソフトウェア、製品などの使いやすさ、使い勝手を実際にユーザに試してもらうことによって、問題点や改善点を見つける。																																																																									
4	マニュアル作成	保守・運用マニュアル	保守運用担当者が保守運用を行うための引継ぎ事項のマニュアル																																																																									
5	マニュアル作成	ユーザマニュアル	ユーザがアプリを利用するためのマニュアル																																																																									
6	保守運用	障害報告書	保守運用時に、アプリに障害が発生したときに発生時期・原因・対応について記載する。	運用保守開始後 12 か月後 ／24 か月後																																																																								
7	保守運用	変更要望リスト	変更要望を一覧化し管理する																																																																									